



木曽林務課だより

5月

令和6年5月17日（金）に南木曽町の柿其国有林を会場に、木曽郡植樹祭（第74回長野県植樹祭（木曽会場））を開催しました。清々しい青空に恵まれた会場で、南木曽町小学校の「みどりの少年団」29名と、南木曽町の招待者や郡内外の林業関係者が集い、総勢約120名により、スギの苗木約400本と、獣害防除用の保護カバーの取り付け作業を行いました。

令和6年度木曽郡植樹祭(第74回長野県植樹祭)を開催しました。

豊かな森林が持つ様々な機能を持続的に発揮させるためには、絶え間なく森林を育て、未来へ繋ぐ努力を怠るわけにはいきません。その意味で、木曽郡の植樹祭は、大きな事業のひとつとなっています。



植樹祭式典会場の全景



来賓の皆様による標柱の建立

今年度の木曽郡植樹祭は長野県植樹祭と共同の開催となり、県内の各企業からの協賛を頂いています。また、山奥の開催地にも関わらず、報道関係3社から取材があり、木曽郡植樹祭を広くメディアを通じて紹介することができました。

開会式では、主催者である木曽地域振興局長から「先人が育ててきた森林を一層充実させ後世に引き継ぐことが我々に使命である」とあいさつがあり、その後、木曽森林管理署南木曽支署の皆さんによるスギのコンテナ苗の植え方と、獣害防除用保護カバーの取り付け方の実演が行われた後、各班に分かれ、植樹作業を行いました。最後まで、ケガもなく行うことができました。また、閉会式では南木曽町小学校みどりの少年団が元気に「みどりの宣言」を行いました。みなさんお疲れさまでした。



植樹作業の様子



作業終了時の植樹会場



みどりの宣言